

高耐力壁を使えば・・・

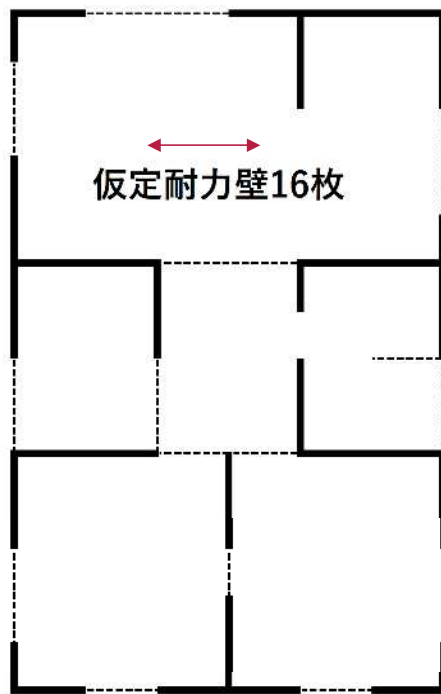
※高耐力壁を使えば何が出来るか・・・利点

- ①平面の間仕切壁を少なくすることでより大空間の部屋の確保が可能になる
- ②窓などの開口部幅を広げる事による偏った耐力壁配置の設計が可能
- ③より高い耐震等級の設計が可能
- ④3階建て、4階建ての建物の設計がしやすくなる・・・プラン次第？

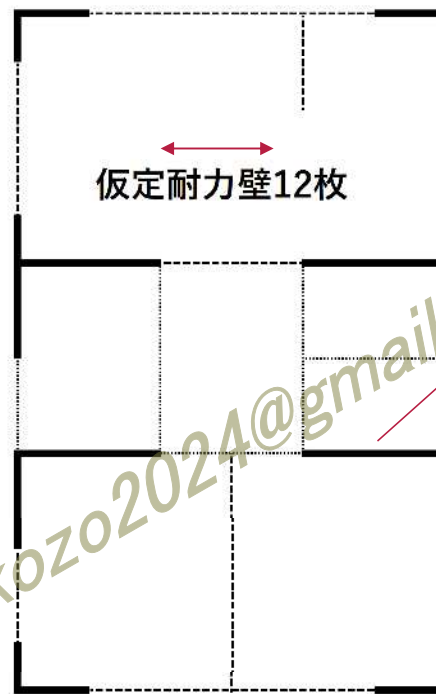
※高耐力壁を使えば何が出来るか・・・欠点

- ①上下階の耐力壁配置位置を合わせる・・・プラン的な制約が出るかも知れません
- ②高耐力壁周りの柱・梁部材断面が大きくなる可能性がある
- ③基礎部材断面が大きくなる
- ④構造計算の時間(手間)が何倍も掛かる

①平面の間仕切壁を少なくすることで大きな空間の部屋の確保が可能になる



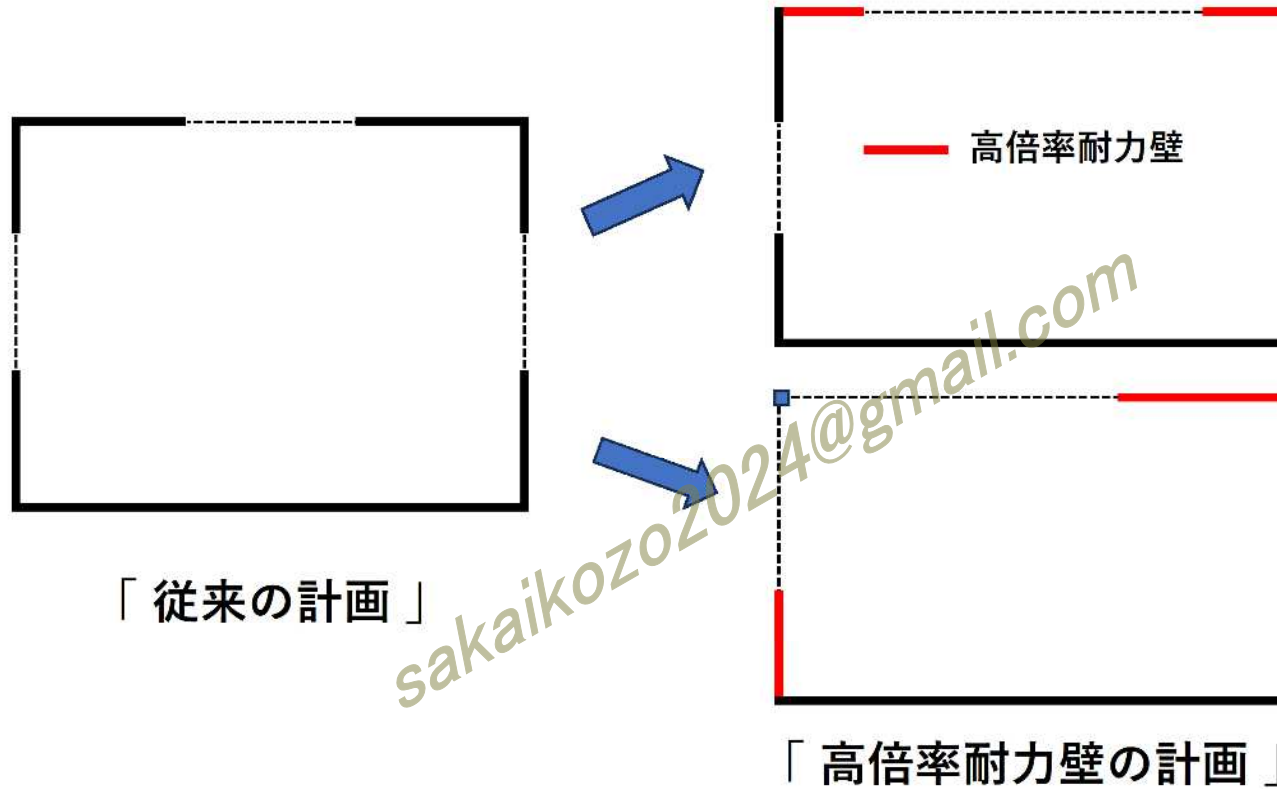
「従来の計画」



「高倍率耐力壁の計画」

外部壁を高耐力壁へ変更、
内部壁は7倍以下で想定する

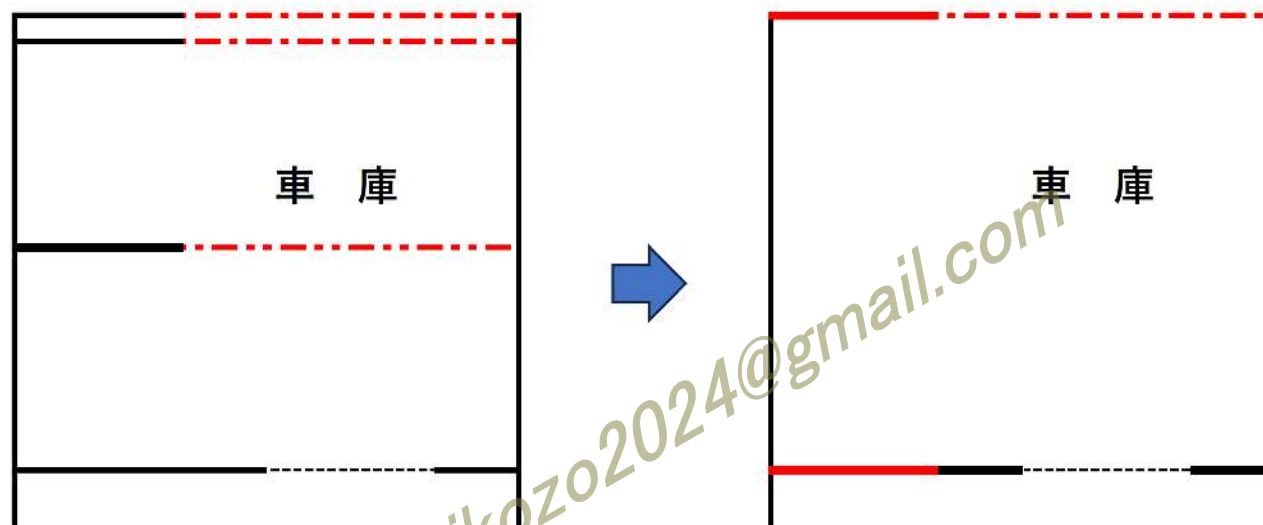
②窓などの開口部を広げて偏った耐力壁配置も可能



③車庫などの二重壁の削減

--- 地中梁

— 高倍率耐力壁



「従来の計画」

「高倍率耐力壁の計画」

中大規模グレー本内での高耐力壁とは・？

- ・高耐力壁定義と使用範囲

壁倍率が7倍を超える耐力壁を高耐力壁と定義している

「使用範囲について」

- ・大壁に当たっては壁倍率換算で 15倍 まで
- ・真壁に当たっては壁倍率換算で 7倍 まで
- ・その他高耐力壁に準ずる耐力壁

面内モーメントが 48kN・m/m 超える 耐力壁